

間宮 宇山(まみや うざん)

資 料

短冊『あさ雉子の 声もをさめて 竹の春 宇山』

作 者

不明－1902(明治35). 1. 25

江戸(東京都)生まれ。

旗本間宮氏の出で、美濃派(芭蕉の弟子各務支考の系譜)の俳諧を学ぶ。明治22年、鳴立庵13世庵主になる。

西園寺公望に俳諧を教える。

参考文献

『俳諧発句万代集(春・夏・秋・冬)』(間宮宇山(栗庵)/編
一事庵史琴/校 稲垣武八 1884. 6

[飯田九一文庫]

